



親子で天体観測

夜空を見上げてみよう

時期:3月

しし座と一際明るい木星を見よう!

木星は、地球と比べると直径は11倍、重さは320倍もある太陽系最大の惑星です。そんなスケールの大きな惑星ですが、この時期は、しし座の後ろ足付近で一際明るく輝いている姿を見ることが出来ます。

しし座の胸元付近には、「小さな王様」という意味を持つ1等星「レグルス」が輝いていますが、木星はレグルスと比較すると約40倍も明るく見えます。

しかも、3月9日は太陽—地球—木星が真っすぐ並ぶ「衝(しょう)」になりますので、地球と木星が最も近付き、より明るく見られる好条件がそろいます。天体望遠

鏡を使えば、木星の縞(しま)模様や周囲を回る4つのガリレオ衛星も観察出来ますので、ますます観望が楽しくなります。



★日立シビックセンター 科学館
鈴木 雄大

天文現象

- 3月9日(水) 新月
部分日食(10:15頃から12:06頃にかけて)
木星が衝
- 3月16日(水) 上弦の月
- 3月20日(日) 春分の日
- 3月22日(火) 月と木星が接近
- 3月23日(水) 満月
- 4月1日(金) 下弦の月

ワンポイントアドバイス

3月は木星を一晩中見ることが出来ます。

日立シビックセンター天球劇場の上映案内

- ★「いきものがたり」、「月の魔法とサンゴの海〜カルオカヒナの大冒険」
※いずれも3/12(土)から上映開始
- ★「星と宇宙を楽しむプラネタリウム」 毎日14:30
- ★「MEGASTARスペシャル」 3/18(金)19:00～、19(土)18:00～
[問い合わせ] ☎0294(24)7731 <http://www.civic.jp>



日立シビックセンター科学館よりプラネタリウム入場券をペア2組にプレゼント。
15日必着で茨城朝日宛てハガキで応募を。